

<基本情報>

改組内容：学科・コース等の設置

情報系組織名：機械コース知能システムプログラム、電気コース光情報プログラム、情報コース

情報系組織の入学定員：【R7増員】改組前38名 → 改組後74名

所在地：徳島県阿南市

背景

「ものづくり技術をもつ高度情報専門技術者が製造現場・成長分野を支える」

製造現場に高度情報専門人材が必要

- デジタル技術を活用したスマート工場
- 生産効率化、機械の故障予知、製品品質の向上
- 需給マネジメント、新製品開発
- 少子高齢化及び生産年齢人口の減少により人手不足が深刻化
- 徳島県は光関連産業、情報関連産業を積極的に展開

DX・GX等の成長分野をけん引する高度情報専門人材が必要

- 専門分野に特化したデータサイエンス・AI応用分野
- 自律分散システム・予知保全分野(機械系)
- 情報フォトンクス・リモートセンシング分野(電気系)
- AI開発・ソフトウェアデザイン・ネットワーク・メディア情報分野(情報系)
- インフラDX・i-Construction・防災分野(建設系)
- ケモインフォマティクス・情報化プラント操業・保全分野(化学系)

事業目的

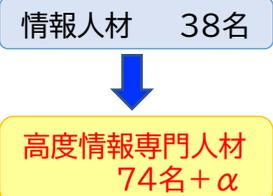
「高度情報専門技術者を持続的に育成」

情報技術を駆使し専門分野において課題解決できる人材を育成

- 次世代情報技術を支える技術者を育成

各コースに情報系プログラムを新たに導入

- 機械コース：知能システムプログラム (18名)
- 電気コース：光情報プログラム (18名)
- 情報コース： (38名)
- 建設コース：令和5年度末までに決定
- 化学コース：令和5年度末までに決定



高度情報教育センター設立

- 先端設備を導入し高度情報教育を実施(サイバーフィジカルシステム等)

実施計画

- 企業と連携した実務家教員による授業の実施
- 情報プログラム対象の特別推薦入試を実施
- 女性技術者のロールモデルを設定、定期的な交流会を実施

教育内容

「先進的かつ実践的な高度情報教育を実施」

高度情報専門人材像

- 情報技術を駆使して、専門分野において課題を解決できる
- 情報技術と専門技術を兼ね備えている
- 研究、開発、実装、生産をデジタル技術により効率的にできる

教育体制

- 既存の専門分野のカリキュラムに高度情報分野の講義・実験を追加
- 企業と連携した教学マネジメント、専門技術者を講師として受入れ
- 学校全体の情報教育を管理する体制を構築
- 持続的な高度情報専門技術者の育成体制を構築
- 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)認定

情報系科目

- デジタルエンジニアリング、光情報工学
- データエンジニアリング、AI応用
- データサイエンス など



実績と特色

「地域社会や地元企業と一体となった取組」

地元企業・自治体との連携実績

- 寄附講座・社会人講座・共同研究における連携
- 高額機器提供、技術者派遣、寄附金による教育・学生支援
- 出前授業、公開講座、体験イベント

光関連産業の集積地という地域の特色

- 地元企業との緊密な協力

連携体制

- 地元企業・高等教育機関と理工系人材育成連携会を定期的に開催
- 地元の金融機関、自治体も含めた産学官金連携体制の整備
- 地元の大学・高専との卒業研究・スタートアップ等の連携、学生間交流を計画
- 海外大学とのインターンシップ等の連携促進

